

地域みんなで盛りあがった

上宇部地区文化祭

十一月十六日・十七日の二日間、上宇部ふれあいセンターで地区文化祭が盛大に行われました。上宇部中学校の『ふるさと愛し隊』のメンバーは、十六日の午前中には準備に力を入れ、十七日は、上宇部中学校ブースや警備等の役割を任され、生き生きと活躍していました。



木材を運び、くぎを打ち込んで、出演者のステージ作っています。

テント約十張り立てました。



ぜんりょくんも「ふるさと愛し隊」！！

金銭の最終収支を一生懸命に計算し確認するふるさと愛し隊のリーダー

これが噂のギャンブルゲーム



私は、ギャンブルゲームを担当しました。小学生に説明をすると、「お兄ちゃんありがとう。」と言われ、地域の方々のお手伝いをしたときには、「本当に手伝ってくれてありがとうね。助かったよ。」などと言われてとてもうれしかったですし、人のために何かをすることのうれしさを学びました。交流のもてる貴重な体験でした。上宇部地区文化祭はもっと、これからも続くといいなと思いました。

【生徒の感想より】

私が印象に残ったことはステージ部門です。出演者だけではなく観客の人もその場を盛り上げていて地域全体のつながりを感じました。地域への思いも感じました。また、うれしい場面がありました。中学生で考え企画したゲームに多くの人が来て、満足そうにしておられたことです。このボランティア活動を通して、地域をよりよくしたいという気持ちが増しました。次回も地域貢献活動に参加したいと思いました。将来の自分が、思いやりをもった人、尊敬される人になりたいと思いました。

地域の人たちが笑顔になってよかったと思いました。



いつもは参加して楽しむ側でしたが、今回、支える側となり多くの人が関わり、多くの苦労があることを知りました。たくさんの人のやさしさで成り立つ文化祭のすばらしさを知りました。